

ごあいさつ



平成26年度がスタートし、社会福祉法人 福井県聴覚障がい者協会及び情報提供施設 福井県聴覚障がい者センターも1年の締めくくりの時期を迎えました。

3月30日(日)10時から第一回評議員会を、午後1時から第三回理事会を開催し、平成25年度事業報告・会計補正予算案及び平成26年度事業計画案・予算案等の審議が行われます。

さて、昨年12月4日の「国連障害者権利条約」日本の批准に引き続き、今、全国の都道府県議会に向けて「手話言語法」制定に向けての意見書提出の運動が展開されています。現在、福井県においては県内9市のうち、福井県議会及び7市(福井市、敦賀市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市)に請願書を、大野市に陳情書を提出し、全て満場一致で可決いたしました。引き続き、小浜市と全

の町に請願書を提出し可決をめざします。

今年度の事業も何とか終了致しますが、新年度にも様々な挑戦をして、情報提供施設としての役割を果たしていきたいと考えています。それには、皆様の大いなるご協力を賜ることが大きな原動力です。どうかこれからも皆様からの叱咤激励、多くのご助力を伏してお願いいたしましてご挨拶と致します。1年間ありがとうございました。

「耳の日記念フェスティバル2014」を開催

平成26年3月2日(日)福井市フェニックスプラザ2階小ホールをメイン会場に、「耳の日記念フェスティバル2014」を開催いたしました。

このイベントは、昨年まで「福井県聴力障害者福祉協会」の主催で、3月3日の「耳の日」を記念し開催されてきたものですが、今年度から当法人主催による「一大イベント」として開催することになりました。

開会式には、県健康福祉部長・田端浩之様、県議会副議長・田村康夫様、福井市福祉保健部長・河上芳夫様、県議会議員・佐藤正雄様、細川かをり様、県社会福祉協議会専務理事・五十嵐嘉也様、県立ろう学校教頭・槌山仁雅様のご臨席を賜りました。

引き続き、県立ろう学校高等部生徒による「県ボランティア作文最優秀賞」と「少年の主張コンクール県教育長賞」のスピーチが発表されました。

また、「ろう学校文化祭」のVTRが放映され、ろう学校高校生が持つ思い・悩み・訴えが表現され、会場は大きな感動に包まれました。

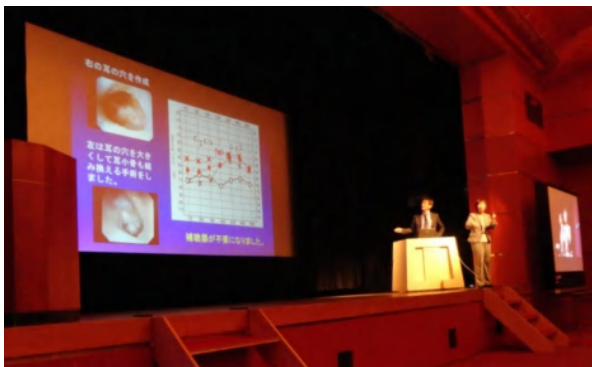
またアフリカ・ルワンダのブタレ聾学校とのスカイプによる交流には、現在のろう学校の活動の交際化に驚いた様子でした。

「医療公開講座」では当法人理事で、福井大学医学部・山田武千代先生による「聞こえの仕組みと難聴・めまい」のご講演。また、「人工内耳解説」もいただきました。

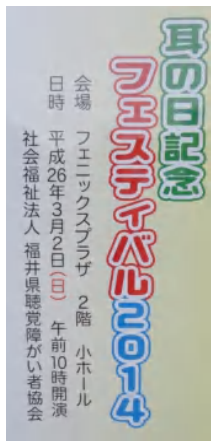


福井県立ろう学校高等部生徒発表





「聞こえの仕組みと難聴・めまい」の講演



聴力相談



手話言語法意見書提出請願報告



聴力測定



活動紹介パネル展示

2階ラウンジで当法人および構成6団体のパネル紹介、小ホールホワイエで書籍の販売、福祉・情報機器展示、別室で聴覚相談、聴力測定等も行いました。

午後の部は「手話言語法請願」の進捗状況が報告され、引き続き、今日のメインイベントである映画「架け橋～聞こえなかった3.11～」を上映しました。

東日本大震災直後の2011年3月から12月までに4回被災地へ取材を行い、一般のテレビや新聞で報道されなかった聞こえない人たちの現状を伝えるドキュメントを第4弾まで制作し、その作品をシリーズ化した映画です。

最後に「手話で防災」に基づく災害時の聴覚障害者支援の問題点と体験発表および、イラスト画像付AEDの解説を行いました。

県内各地から聴覚障がい者および関係者をはじめ、200名を超える県民の方々が参加され「耳の日記念フェスティバル2014」を終了することができ、ありがとうございました。

新しい企画を工夫しご用意いたしますので、多くの皆様と来年の「耳の日記念フェスティバル」でお会いすることを期待しております。



センター公用車「福祉相撲号」が納車される

2月11日東京両国国技館で開催された「第47回NHK福祉大相撲」で、当法人の丸山理事長が、横綱白鵬関より福祉相撲号のキーの贈呈を受けました。あれから1カ月以上がたちましたが、3月28日(金)待望の納車となりました。

平成25年4月1日に法人が創設されましたが、公用車を購入することができませんでした。やむなく、講習会や外出時には職員の自家用車を使う状態でした。しかし、福井県社会福祉協議会様のご推薦をいただき、毎年、全国の福祉事業所に寄贈される車の寄贈を受けることになりました。





横綱・白鵬関からキーを受け取る丸山理事長

実際にはもう少し早く納車していただけるはずでしたが、東北地方に部品工場が多く、突然の大雪に見舞われ遅れてしまったようです。

ともかく3月中にいただきましたことは感謝にたえません。

今後は、安全運転に心掛け、大切に使用させていただきます。本当に感謝しています。

任意保険やカーナビ・ETCなども装備し、4月から字幕入りビデオ貸出しや各種講習会に活用させていただきます。NHK 厚生文化事業団や日本相撲協会ならびに日産自動車様に、厚く御礼申し上げます。

平成 25 年度手話通訳者全国統一試験、全国統一要約筆記者認定試験

手話通訳者全国統一試験 (H.25 年 12 月 7 日実施) 及び、第 3 回全国統一要約筆記者認定試験 (H.26 年 2 月 23 日実施) の結果が発表されました。

(1) 手話通訳者全国統一試験は、全国の受験者数は 1,554 名で合格者数は 277 名 (合格率 17.82%) でした。福井県は、17 名が受験し 4 名の方が合格 (合格率 23.53%) されました。

(2) 2013 年度全国統一要約筆記者認定試験は、①実技と②筆記に分かれ、かつ実技は、手書き実技とパソコン実技があります。「手書き」受験者数 730 名に対し全認定者数は 164 名合格で率は 22.47%。「パソコン」受験者数 475 名に対し 120 名合格で率は 25.26%。福井県の「手書き」は 18 名の受験者数で合格者は 0 名でした。「パソコン」については 12 名の受験者数で合格者は 4 名 (合格率 33.33%) でした。この要約筆記者認定試験も手話通訳者全国統一試験同様、大変厳しい結果でした。合格者の皆さんおめでとうございました。

手話通訳者の合格証書は、福井県ろうあ協会の第 27 回ろうあ者福祉大会 (あわら市) で、要約筆記者の合格証書は、NPO 法人福井県中途失聴・難聴者協会の総会で、授与されます。

☆平成 25 年度 手話通訳者全国統一試験合格者 (敬称を省略させていただきます。)



近澤 康子



濱崎 照美



清水 礼子



津谷 留美

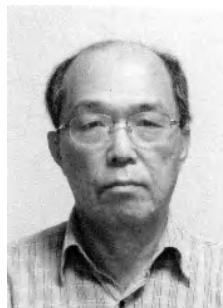
☆平成 25 年度 全国統一要約筆記者認定試験合格者 (敬称略させていただきます。)



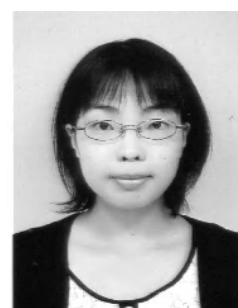
大野 三和



境井 彩加



日種 隆三



堀江いくみ

平成 25 年度の事業報告

平成 25 年度の福井県聴覚障がい者協会の事業は、社会福祉事業としての「聴覚障害者情報提供施設」福井県聴覚障がい者センターの運営で、字幕入りビデオ貸出し事業・制作事業、聴覚障がい者相談事業を行い、県からの委託事業として、手話奉仕員養成の入門講座 2 会場と基礎課程 2 会場、レベルアップ講座 2 会場、手話奉仕員養成の基本課程・応用課程・実践課程を各 1 会場とステップアップ講座を 2 会場、要約筆記者養成講座を 2 会場と要約筆記者移行研修講座を 1 会場開催し、手話通訳者全国統一試験と全国統一要約筆記者認定試験を行いました。

さらに公益事業として、敦賀市から手話奉仕員養成の入門講座 1 会場と基礎課程 1 会場、坂井市から手話奉仕員養成入門講座 1 会場の委託を受けて、開催しました。

その他、手話通訳者健康診断事業を行い、福祉専門学校と民間企業からの依頼を受けて連続の手話講習に講師を派遣し、小中学校や団体に手話講師を派遣しました。

障害者個人からの派遣申請により、行政が手話奉仕員・手話通訳者派遣、要約筆記者を派遣しますが、当法人では企業・団体・行政からの依頼を受けて有料で手話通訳・要約筆記を派遣しています。

そして、収益事業として「耳の日記念フェスティバル」を開催しました。

区分	事業名	回数	受講	修了	区分	事業名	回数	受講	修了
社会福祉事業	手話奉仕員養成入門講座	23	11	10	公益事業	敦賀市手話奉仕員養成入門講座	26	14	8
	〃	23	10	9		敦賀市手話奉仕員養成基礎課程	30	13	8
	手話奉仕員養成基礎課程	30	14	12		坂井市手話奉仕員養成入門講座	26	16	13
	〃	30	12	12		AWI 手話講座	28	38	9
	奉仕員レベルアップ講座	15	14	14		大原学園	8	25	25
	〃	15	13	11		福井県医療福祉専門学校	8	41	41
	手話通訳者養成基本課程	23	6	6		加賀市役所	38	10	5
	手話通訳者養成応用課程	23	11	11		手話通訳者健康診断事業	3	23	23
	手話通訳者養成実践課程	19	4	4			件数	参加者	
	手話通訳者ステップアップ講座	13	11	11		手話通訳派遣事業	165	281	
	〃	13	7	7		要約筆記派遣事業	27	58	
	要約筆記者養成講座	22	17	12		広報番組協力事業通訳派遣	15	42	
	〃	22	7	6		手話要約筆記啓発事業(講師派遣)			
	要約筆記者移行研修講座	7	20	20		収益	耳の日記念フェスティバル事業	1	197
手話通訳者全国統一試験	1	17	4						
全国統一要約筆記者認定試験	1	20	4						

平成 26 年度各種講習会について

===県手話通訳者養成講座のお知らせ===

対象者：手話奉仕員養成講座基礎課程修了、もしくは同等の技能を有する者で、手話通訳者養成講座全課程修了後に通訳者登録試験を受け、合格後は福井県内全域で通訳活動が可能なる者。

◆嶺南会場■■■基本課程（全 23 回）■■■

日 時：5 月 26 日～ 12 月 1 日 毎週月曜日 午後 7 時～9 時
 会 場：敦賀市福祉総合センター（予定） 申込〆切：5 月 9 日（金）
 面接日：5 月 19 日（月）午後 7 時～9 時 敦賀市福祉総合センター（予定）

◆丹南会場■■■応用課程（全 23 回）■■■手話通訳者養成講座基本課程修了者

日 時：5 月 19 日～ 11 月 17 日 毎週月曜日 午後 7 時～9 時
 会 場：越前町朝日生涯学習センター（予定） 申込〆切：5 月 12 日（月）

◆福井会場■■■嶺南会場（全 19 回）■■■手話通訳者養成講座応用課程修了者

日 時：5 月 1 日～ 6 月 26 日 毎週木曜日 午後 7 時～9 時 ・ 7 月以降随時
 会 場：福井県社会福祉センター 申込〆切：4 月 23 日（水）
 定 員：20 名（各会場共通）

受講料：6,000 円（各会場共通） 問合せ・申込先：所定の申込用紙に必要事項を明記の上、**52 円ハガキ 1 枚**を添えて申し込んで下さい。〒910-0026 福井市光陽 2-3-22 県社会福祉センター内 社会福祉法人 福井県聴覚障がい者協会 手話奉仕員養成事業担当まで URL：<http://fukui-deaf.jp/>



===手話奉仕員養成講座のお知らせ===

奉仕員養成講座（嶺北会場）■■■奉仕員課程（全46回）■■■

日 時：平成26年4月17日～平成27年3月12日 毎週木曜日 午前10時～12時
 会 場：福井県社会福祉センター・福井県視覚障害者情報文化会館
 対象者：初めて手話を学ぶ人。満18歳以上で、受講後は活動が可能な人
 定 員：40名 申込〆切：4月11日（金）
 申込方法：＜往復はがき＞返信用の宛先に自分の住所・氏名を、往信用に下記の申込先を書き、お申込み下さい。
 受講料：6,000円（テキスト代含む）
 問合せ・申込先：福井市光陽2丁目3-22 県社会福祉センター2F
 （福）福井県聴覚障がい者協会 手話奉仕員養成講座係 TEL/0776-63-5572

奉仕員基礎課程（福井会場）（全30回）

日 時：4月7日～12月15日
 毎週月曜日 午前10時～12時
 会 場：福井県社会福祉センター
 対象者：手話奉仕員養成講座入門課程を修了された人、または同等の手話表現が出来る人
 定 員：40名 申込〆切：4月4日（金）
 受講料：6,000円（テキスト代含む）
 申込方法：所定の申込用紙に必要事項を明記の上、
52円ハガキ1枚を添えて申し込む
 申込先：県聴覚障がい者協会手話奉仕員養成講座係
 TEL/0776-63-5572

奉仕員基礎課程（嶺北会場）（全30回）

日 時：5月14日～12月10日
 毎週水曜日 午後7時～9時
 会 場：福井県社会福祉センター
 対象者：手話奉仕員養成講座入門課程を修了された人、または同等の手話表現が出来る人
 定 員：40名 申込〆切：5月7日（水）
 受講料：6,000円（テキスト代含む）
 申込方法：所定の申込用紙に必要事項を明記の上、
52円ハガキ1枚を添えて申し込む
 申込先：県聴覚障がい者協会手話奉仕員養成講座係
 TEL/0776-63-5572

敦賀市手話奉仕員養成講座（奉仕員コース46回）（※基礎課程は改めてご案内します）

日 時：平成26年5月13日～平成27年2月10日 毎週火曜日 午後7時～9時
 会 場：敦賀市福祉総合センター「あいあいプラザ」 ※実技・講義＝土曜日5回午前10時～午後3時
 対象者：初めて手話を学ぶ人。満18歳以上で、受講後は活動が可能な人
 定 員：30名 申込〆切：5月1日（木） 受講料：3,240円（テキスト代）
 申込先：敦賀市地域福祉課 TEL/0770-22-8176

坂井市手話奉仕員養成講座基礎課程（全27回）

日 時：平成26年5月21日～11月26日 毎週水曜日 午後7時～9時
 会 場：坂井市健康センター
 対象者：手話奉仕員養成入門課程修了者
 定 員：30名 申込〆切：5月12日（月） 受講料：3,240円（テキスト代）
 申込先：県聴覚障がい者協会手話奉仕員養成講座係 TEL/0776-63-5572

===手話奉仕員養成レベルアップ講座のお知らせ===

対象者：聴覚障害者福祉の向上に熱意のある人で①～③いずれかの条件を満たしている人
 ① 手話奉仕員養成基礎課程修了者 ② ①と同等の力を有する人 ③ 全国手話検定3級を有する人

■■■福井市会場■■■

日 時：7月14日～11月17日 毎週月曜日 午前10時～12時
 会 場：福井市研修センター 申込〆切：7月7日（月） 定 員：20名

■■■丹南会場■■■

日 時：7月11日～11月14日 毎週金曜日 午後7時～9時
 会 場：越前町朝日生涯学習センター（予定） 申込〆切：7月4日（金） 定 員：20名

■■■嶺南会場■■■

日 時：7月15日～11月4日 毎週火曜日 午後7時～9時
 会 場：敦賀市男女共同参画センター（予定） 申込〆切：7月8日（火） 定 員：20名
 受講料：3,000円（各会場共通） 問合せ・申込先：所定の申込用紙に必要事項を明記の上、
52円ハガキ1枚を添えて申し込んで下さい。〒910-0026 福井市光陽2-3-22 県社会福祉センター内 社会福祉法人 福井県聴覚障がい者協会 手話奉仕員養成事業担当まで URL：<http://fukui-deaf.jp/>



要約筆記者養成講座(嶺北会場、嶺南会場)のご案内。ご家族、ご友人、お仕事先などで、要約筆記に興味のある方がおられたら、是非お知らせ下さい。中途失聴・難聴者の生活および関連する福祉制度等についての理解と認識を深めるとともに、必要な手書きおよびパソコン要約筆記技術を習得することを目標として実施します。

■対象者 … 中途失聴者や難聴者の福祉に理解と熱意を持つ人
・県内に居住する満 18 歳以上の人で、全日程の 80%以上出席できる人
<パソコンコース受講の方>

・ノートパソコンを持参できる方・1分間に 70 字程度のタッチタイピングが出来る方



福井県要約筆記者養成講座嶺北会場

日 時：5月17日～11月1日 毎週土曜日 午前10時～午後4時
会 場：福井県社会福祉センター
定 員：20名 申込〆切：5月8日(木)
内 容：手書き実技課程(全17回)+パソコン実技課程(希望者のみ全5回)計22回
費 用：全日程研修7,300円(テキスト代含む)当日会場でお支払い下さい。
申込〆切：5月8日(木)

福井県要約筆記者養成講座嶺南会場

日 時：5月15日～10月30日 毎週木曜日 午前10時～午後4時
会 場：敦賀市男女共同参画センター・敦賀市福祉総合センター(あいあいプラザ)
定 員：20名 申込〆切：5月8日(木)
内 容：手書き実技課程(全17回)+パソコン実技課程(希望者のみ全5回)計22回
費 用：全日程研修7,300円(テキスト代含む)当日会場でお支払い下さい。

大野市要約筆記者養成講座

日 時：5月18日～11月2日 毎週日曜日 午前10時～午後4時
会 場：大野市多田記念有終会館「結とびあ」
定 員：20名 申込〆切5月12日(月) 受講料3,300円(テキスト代)
内 容：手書き実技課程(全17回)+パソコン実技課程(希望者のみ全5回)計22回
申込先：大野市社会福祉協議会 TEL/0779-65-8773

映像に字幕を！養成講座を開催

3月23日(日)に「字幕制作講習会」を、赤い羽根共同募金助成事業としてユー・アイふくいアップルサークルが開催し、当センターが後援をしました。字幕入りビデオ共同事業体の貸出を受けている東京の聴力障害者情報文化センターの早川代志子氏を講師にお招きし、23名が基礎的な知識と技術を学びました。当センターの字幕制作を支える人材となることを期待しています。

補助具・情報機器等展示ケース設置

4月から補助具や情報機器等を揃えて展示ケースを設置し、新情報機器など触って試してみingことを可能にするため、順次揃えてまいります。貸出しも計画していますので、直接来所されるかホームページをご覧ください。講座や学習会、サークル例会等で有効にお使いください。

編集後記

障害者基本法改正により、「言語に手話を含む」が規定され、障害者権利条約にわが国が批准したことは、聴覚障がい者の手話言語法制定運動へと大きなうねりとなっています。

今般、「耳の日」や、「手話言語法制定意見書請願」などの新聞報道に、ろう学校の手話教育について一部誤解を招きかねない記事が掲載されたことにより、関係各位に多大なるご迷惑をおかけしましたことにつきまして、紙面を借りまして深くお詫び申し上げます。

近年ろう学校では、手話を取り入れた教育を積極的に進め、「平成25年度県立ろう学校文化祭」では生徒たちが口話と同時に、またはそれを上回るほどの手話を使い大変素晴らしい発表を披露してくれました。また、教員の方々は積極的に手話講習会などに参加されています。今後は事実を十分に把握し、配慮ある報道機関対応を心がけて参ります。〔施設長・眞家〕